

# モルモン書 — わたしたちの宗教のかなめ石

「キリストについてのわたしたちの証のかなめ石」



「モルモン書は、わたしたちが行う全てのことのかしら石であられるイエス・キリストに対する、わたしたちの証のかなめ石となるものです。モルモン書はイエスの実在を証しています。……そこにある主についての証は明快かつ純粹で、力があります。今日キリスト教界の多くは救い主の神性を否定しています。彼らは、主の奇跡的な誕生や、完璧な生涯、栄光ある復活の真実性に疑いを抱いているのです。モルモン書はそれら全てが真実であることを分かりやすく、誤解の余地のない言葉で教えています。贖いの教義をこれほど完全に説明している書物は他にありません。」（エズラ・タフト・ベンソン「モルモン経—私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 5参照）

# モルモン書 — わたしたちの宗教のかなめ石

「わたしたちの宗教のかなめ石」



「モルモン書には救いに必要な完全な教義が収められているということなのです。そして、その教義は分かりやすく簡単で、子供でさえも救いと昇栄の道を学ぶことができます。……モルモン書には救いの教義が広範囲に理解できるようになる内容がたくさん含まれています。」エズラ・タフト・ベンソン「モルモン経—私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 6参照

# モルモン書 — わたしたちの宗教のかなめ石

「証のかなめ石」



「モルモン書は証のかなめ石です。かなめ石を取り外したらアーチが崩れ落ちるように、この教会の全ては、モルモン書が真実かどうかにかかっています。……モルモン書が真実ならば……回復とそれに付随する全てのことを受け入れなければなりません」（エズラ・タフト・ベンソン「モルモン経—私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 6参照）。

